

# 事業実績報告書

**記載例**

1 事業の種類 産科医等確保支援事業

2 分娩施設及び開設者名 和歌山県産婦人科 和歌山 太郎

実際の「支給対象となったのべ人数+院長見合い分ののべ人数」を単価ごとに記入してください

3 事業内容

各月の実際の件数を記入してください

月	対象分娩取扱件数 (件)	1分娩当たりの手当支給単価及び事業の対象となるのべ人数			
		単価(円)	医師(人)	単価(円)	助産師(人)
	9		① 6 ② 2 ③ 1		① 14 ② 4
	8		① 10 ② 1		① 14 ② 2
6月	8		① 9 ② 2		① 12 ② 4
7月	8	(院長)	① 7 ② 2		① 12 ② 4
8月	9	手当見合い	① 11 ② 3 ③ 1		① 12 ② 6
9月	7		① 7 ② 1 ③ 1		① 12 ② 2
10月	8	(非常勤)	① 9 ② 3	①通常 5,000	① 10 ② 6
11月	7	①通常 10,000	① 8 ② 1	②深夜 15,000	① 12 ② 2
12月	8	②深夜 30,000	① 11 ② 2		① 12 ② 4
1月	7	③帝王切開 50,000	① 8 ② 1 ③ 1		① 12 ② 2
2月	6		① 12		① 12
3月	10		① 12 ② 2 ③ 1		① 16 ② 4
合計	95		①110 ② 20 ③ 5		①150 ② 40



## 経費所要額精算書

記載例

分娩取扱施設名 和歌山県産婦人科

区分	基準額 (A)	対象経費の 支出予定額 (B)	選定額 (C)	総事業費から寄附 金その他の収入額 を控除した額 (D)	補助基礎額 (E)	補助金 交付額 (F)	交付決定額 (G)	補助金 受入済額 (H)	差引 過不足額 (F) - (H)	備考
産科医等確保 支援事業	A 円 950,000	B 円 3,300,000	C 円 950,000	D 円 3,300,000	E 円 950,000	F 円 316,000	G 円 330,000	H 円 0	円 316,000	

## &lt;各欄の記入方法&gt;

- A** 実際の分娩件数×10,000円で算出される金額を記入してください。
- B** 実際の「支給総額+院長見合い分の総額」を記入してください。 ※産科医・産婦人科医・助産師以外に支給される手当は含めないこと
- C** (A)欄と(B)欄とを比較して、少ない方の額を記入してください。
- D** 該当事業について寄附金その他の収入額が有れば(B)欄からそれを引いた額を記入してください。無ければ(B)欄と同額を記入してください。
- E** (C)欄と(D)欄とを比較して、少ない方の額を記入してください。
- F** (E)×1/3(※1,000円未満は切り捨て)で算出される額によって、下記のとおり記入してください。  
①交付決定通知の額を上回る場合⇒交付決定通知の額を記入してください。  
②交付決定通知の額を下回る場合⇒(E)×1/3(※1,000円未満は切り捨て)で算出された額を記入して下さい。
- G** 交付決定通知の額を記入してください。
- H** 「0」を記入してください。

令和●年度 産科医等確保支援事業  
歳入歳出決算書(見込書) 抄本

歳入

科目	金額	概要
補助金	316,000	円
自己負担	2,984,000	
合計	3,300,000	

経費所要額精算書の(F)か(G)の少ない方の額

経費所要額精算書の(B)と同額

経費所要額精算書の(B) - 補助金の額

歳出

科目	金額	概要
分娩手当		円
医師	1,950,000	
助産師	1,350,000	
合計	3,300,000	

経費所要額調の(B)と同額

この抄本は原本と相違ないことを証明する。

実績報告書の日付と同日

令和●年●月●日

住所 和歌山市小松原通1-1

名称 和歌山県産婦人科

押印は不要

開設者名 和歌山 太郎